OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学附属図書館における “コモンズ”のひろがりとつながり : 教員・学生・職員が協働した学習支援の取り組み
Author(s)	末田, 真樹子
Citation	
Version Type	AM
URL	https://hdl.handle.net/11094/26065
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

2013/8/9@三宮研修センター
2013年度第1回阪神地区研究会
「大学図書館における学習支援の取り組みについて―主にラーニング・コモンズの設置と活用について」

大阪大学附属図書館における“コモンズ”のひろがりとつながり

―教員・学生・職員が協働した学習支援の取り組み

大阪大学附属図書館利用支援課情報ナビゲート班
末田 真樹子

目次

1. 本日の主旨
2. ラーニング・コモンズ/グローバル・コモンズ概要
3. 学習支援の取り組み事例
4. 総合図書館ラーニング・コモンズ/グローバル・コモンズ利用動向調査
5. アイスブレイク
6. ラーニング・コモンズを通じて
7. おわりに

本日の主旨

- 学習支援の取り組み事例紹介
- 図書館職員は「チーム学習支援」の一員

大阪大学概要

- 学部生16,000人，院生8,000人，留学生1,800人
- 教員3,100人，職員2,700人，非常勤職員等3,300人
- 豊中（総合），吹田（生命科学+理工学），箕面（外国学）
  - 11学部，16研究科（うち6独立研究科），5研究所2附属病院，3全国共同利用施設　ほか
- 総合図書館について
  - サービス対象：豊中地区の学生・教職員約12,000人
  - 総面積：18,920m^2
  - 蔵書数：120万冊
  - 座席数：1,500席
  - 年間入館者数：81万人（H24)

ラーニング・コモンズ概要

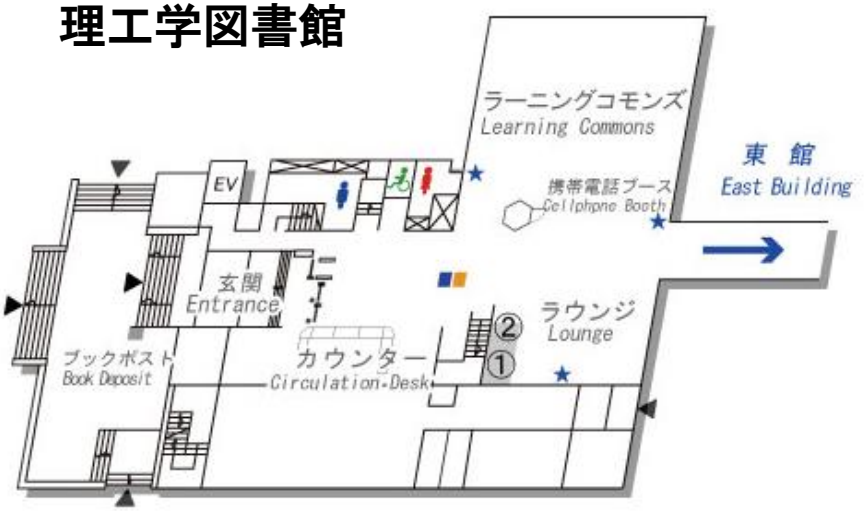
- 理工学図書館（2009.4～）
  - 236㎡，48席
  - PC29台，無線LAN，貸出PC10台
- 総合図書館（2009.6～）
  - 756㎡，106席
  - PC18台，無線LAN，貸出PC33台，貸出プロジェクタ3台
- 外国学図書館「るくす（LUX）」（2012.4～）
  - 126㎡，18席
  - PC12台，無線LAN，貸出PC8台，プロジェクタ2台，電子黒板1台

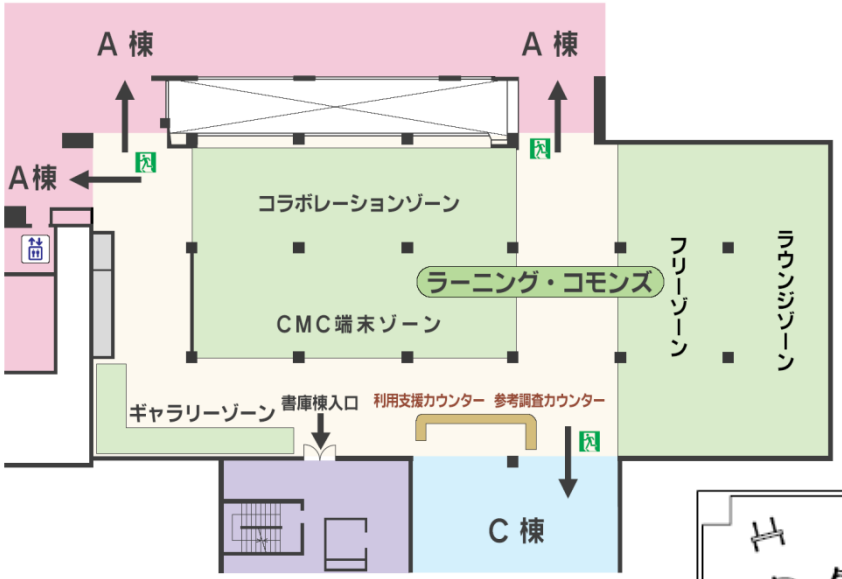
ラーニング・コモンズ概要

- ラーニング・コモンズとは？
  - 「学部教育の新たなパラダイム転換，すなわち学習理論が『知識の伝達』から『知識の創出・自主的学習』に移行したことを反映したものである」（米澤誠「インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ：大学図書館におけるネット世代の学習支援.」『カレントアウェアネス』289, 2006. CA1603）
  - 「多様な利用形態や学習スタイルに対応するために，学習支援サービス，情報資源，設備を総合的にワンストップで提供する学習支援空間」（呑海沙織，溝上智恵子「大学図書館におけるラーニング・コモンズの学生アシスタントの意義」『図書館界』63(2), 2011）

- Teaching から Learning へ，Reading から Learning へ
  - 「教育・研究を支えることを最大の役割とする図書館で，従来の講義中心の授業法とは異なる，自主的な課題解決を支援するため」（『阪大Now』no. 112, 2009）

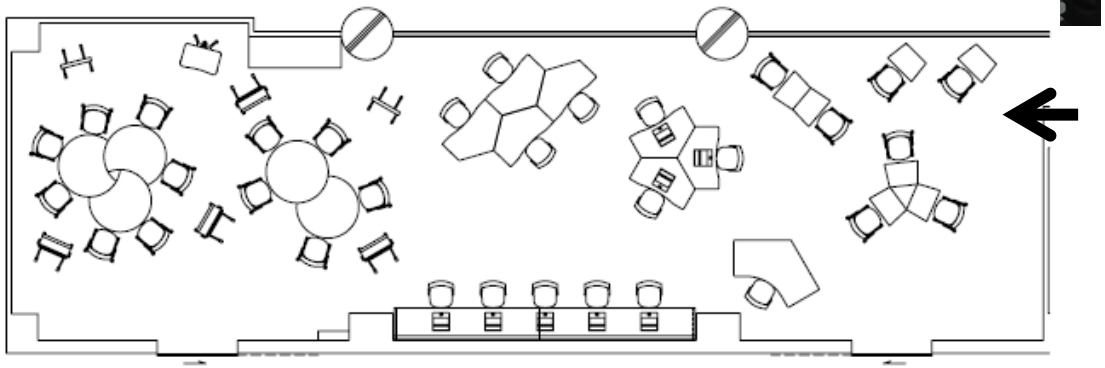
理工学図書館





総合図書館

外国学図書館



グローバル･コモンズ概要

- 2012年11月～(総合図書館)
- 大阪大学の教育理念である「国際性」を支援する

プレゼン設備
･天井吊りプロジェクタ
･スクリーン
･マイク

電子黒板
･備え付け型
･シート型

548㎡，114席

テーブル型タッチディスプレイ

新聞閲覧機器

GLOBAL COMMONS
OSAKA UNIVERSITY LIBRARY

学習支援の取り組み事例

- ✓ Teaching Assistant
- ✓ 講習会・イベントの企画と実施
- 授業への場所提供
- イベントの共催・場所提供
- 講義の実施
- グローバル・コモンズの24時間開館（試行）
- ゾーニング

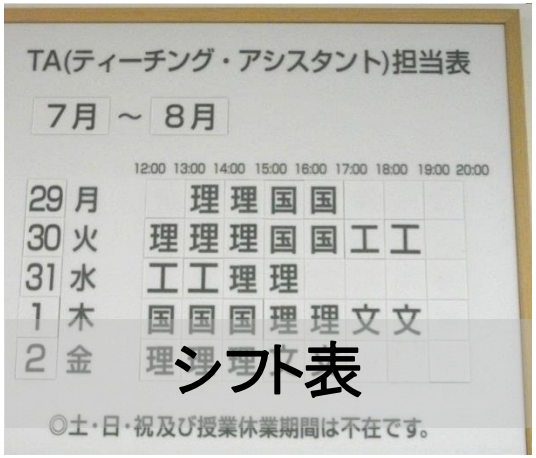
※今発表では総合図書館がメインになりますことを
あらかじめご了承ください

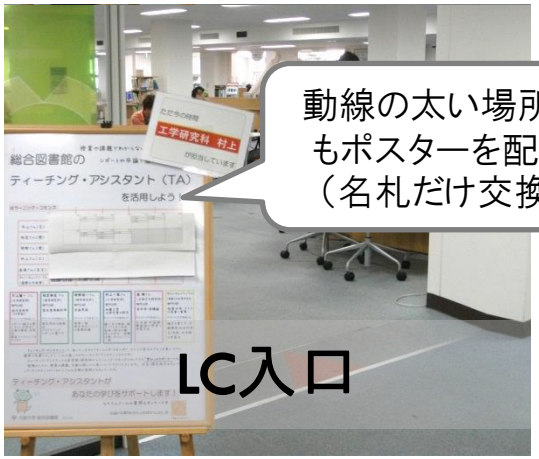
学習支援の取り組み事例

- Teaching Assistant（1/3）
  - 学部学生の学習支援
  - 大学院生
    - 総合：文1，理2，工1，国1
    - 理工学：工8 / 外国学：言7，人1（2013/7現在）
  - 学習相談，PC・ソフトの利用相談，講習会・イベント
  - 学習用図書選書
  - パスファインダーの作成
    - 館内配布の他，ウェブサイトで公開中
      http://www.library.osaka-u.ac.jp/ta.php（accessed2013/7/29）
  - 利用対応
    - 総合：1,175件（2012年度）
    - 理工学：514件（2012年度）
    - 外国学：396件（2012年度下半期）

学習支援の取り組み事例

- Teaching Assistant（2/3）—総合図書館





学習支援の取り組み事例

Teaching Assistant(3/3)—総合図書館

- TAミニ講習会
  - Wordの使い方，言語系のレポートはどう書くか，「哲学基礎」入門 —哲学の講義に出席して訳が分からなかった人達の為に—，理系のための研究室の選び方，LaTeXで文書を作る(基礎)，Excelによる実験データのグラフ化，Matlabによる実験データのグラフ化，ExcelまたはRでの統計解析の基礎(2012年度)
  - ウェブサイトでテキストを公開中(一部)
    http://www.library.osaka-u.ac.jp/ta.php (accessed2013/7/29)
  - 16回実施，参加者41人(2012年度)
  - 学生にとって：専門的な話を気軽に聞ける
  - TAにとって：自らの専門知識をレクチャーする
- グローバル・コモンズ　カフェ
  - 初めての中国語，What are Chinese businesses up to in sub-Saharan Africa?，いろいろな国の視点でニュースを読む日
  - 3回実施，参加者27人
- 気軽に参加できるように予約は不要

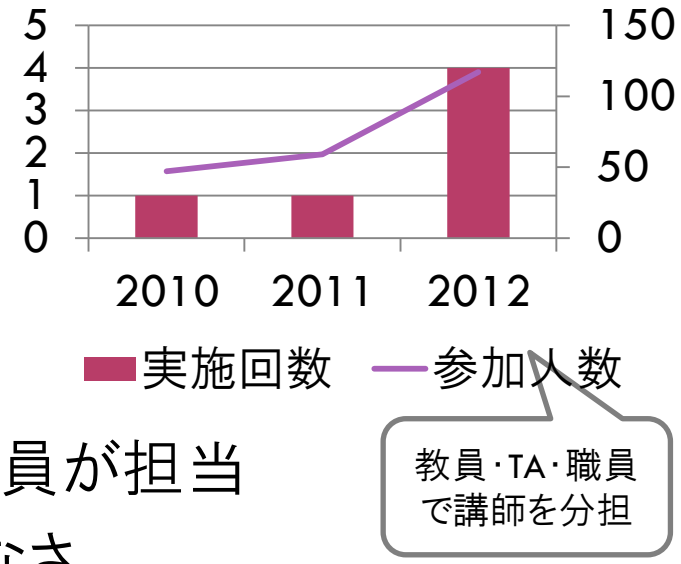
学習支援の取り組み事例

講習会・イベントの企画と実施

- オリエンテーション，図書館ツアー
- 講習会
  - 論文検索講習会
  - レポートの書き方講座
  - 論文の書き方＆文献の読み方プチ・ゼミナール
  - プレゼン入門「話す基本技術」
  - データベース講習会

→<u>正課授業外の学習の機会づくり</u>

学習支援の取り組み事例



- レポートの書き方講座（2010～）
  - テキスト作成・実施を教員が担当
  - 広報・事務処理，講師及び補助を職員が担当
  - 阪大のライティングを学ぶ機会の少なさ
  - 「ラーニング・コモンズですること」にこだわらない
  - 4回実施，参加者117人（2012年度）
  - 担当したTAより
    - 「比較的多くの学生の方に対して一般的なトピックの話をするという、『講義』に近いものを経験できた」→プレFD？
      「基本的には堀先生のレジュメ通りに行いましたが、実験のレポートでは・・・だとか、就活に繋がるなど身近な立場だからこそいえることを加えるように努めました」→立場の近い院生ならでは

学習支援の取り組み事例

- 論文検索講習会（2011～）
  - 2012年度より毎月実施
    - 「はじめての論文」（学術情報の形態，CiNiiなど）
    - 「一歩進んだ論文」（参考文献・引用，WoSなど）
  - テキスト作成を図書館職員，講師をTAと職員で分担
  - 参加者72人（2012年度）
  - “商品化”と“事業化”
    - 複数人で講師を分担することで定期開催
    - 内容の改善
    - TAへオリエンテーション
    - 相談の敷居を下げるために

学習支援の取り組み事例

授業への場所提供

- 図書館パスファインダーをつくろう（毎週金曜）
  - 堀一成准教授（全学教育推進機構）
- 環境教育入門
  はじめてのアカデミックライティング…等

イベントの共催・場所提供

- 天文に親しむ連続企画（天文同好会）
- 著者トーク「夢ふる夜に～Twitterで綴る140文字の文学～」（ショセキカ）
- 阪大語り場SpeakOut!!

※グローバル・コモンズのイベント利用（28回/2013.7現在）

→<u>アカデミックな交流の場</u>として認識

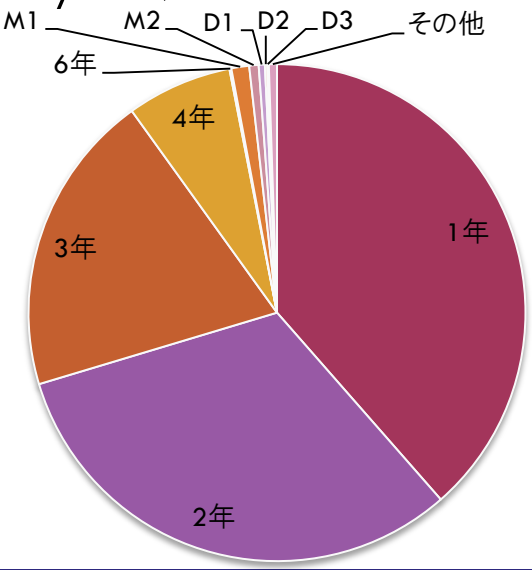
学習支援の取り組み事例

講義の実施（例）

- 情報活用基礎
- 情報探索入門
  - http://www.library.osaka-u.ac.jp/literacy.php
    （accessed2013/7/29）
- アート・アーカイブズ概論
- 文化資源学入門
- アカデミック・スキルズ

学習支援の取り組み事例

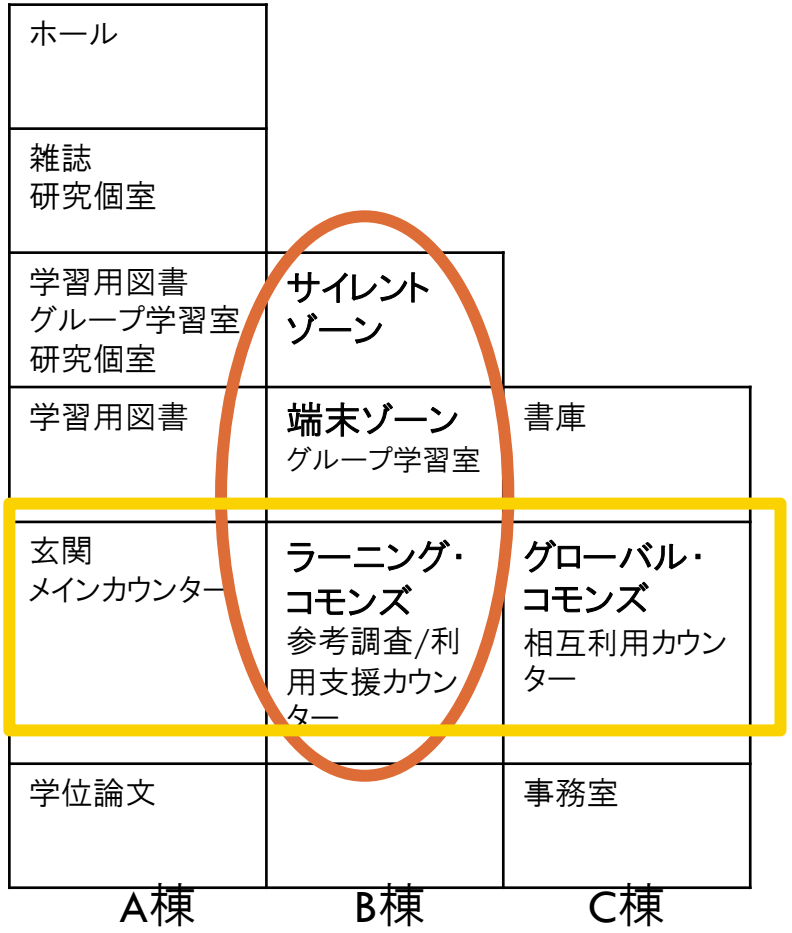
- グローバル・コモンズの24時間開館（試行）
  - 2013年1月21日～2月18日，2013年7月4日～8月1日（試験期の平日）
  - 冬期実施アンケート結果をウェブサイトで公開中（回答数174件）http://www.library.osaka-u.ac.jp/news/20130621d_sougou.php（accessed2013/7/29）



入館者数
2013年1月21日～2月18日

学習支援の取り組み事例

- ゾーニング
  - 端末ゾーン
    - 別フロアに端末を集中
    - 131席，PC66台
    - プリンタ1台
  - サイレント・ゾーン
    - 会話，タイピングを禁止
    - 150席（個人ブース20台）
  - グループ学習室
    - 7部屋
    - 3,214回使用/年（H24）
  - 研究個室



学習支援の取り組み事例

- 日々の業務の積み重ね
  - 資料の整備・保存・提供
    - 学生選書，テーマ展示

    →**自ら進んで学ぶ機会づくり**
  - 相互利用・参考調査，情報リテラシー教育
- 「学生が何を学ぶのか」
  - 「研究図書館は，提供できる情報の量ではなく，情報が提示される場での経験の質のため特別なものになるであろう」（加藤信哉他『ラーニング・コモンズ』）
  - 「子どもたちからどんな行動が引き出せたときに授業が成功したとみなすのだろうか？」（島宗理『インストラクショナルデザイン―教師のためのルールブック』）

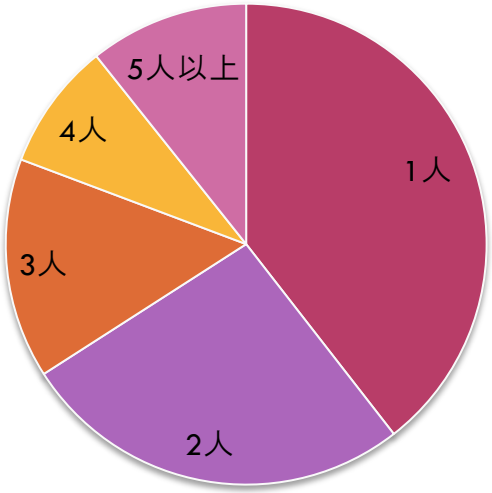
総合図書館ラーニング･コモンズおよび
グローバル･コモンズ利用動向調査

- 実施目的
  - グローバル･コモンズ向けた現状把握
  - 「利用者とのコミュニケーション改善」「利用環境に対する改善要望」
- 実施期間
  - 2012年4月16日～20日：観察とインタビュー
  - 2012年5月14日～18日：観察
  - 2012年7月23日～27日：観察
  - 2013年1月28日～2月1日：観察（グローバル･コモンズも対象）
- 実施方法
  - 観察
    - ラーニング･コモンズ内を7つ，グローバル･コモンズを5つのエリアに分け，各エリアで「何人グループが何組いるか」「各グループがどのような行動（自習，グループ学習，雑談など）をしているか」を調査
    - 11時，15時，18時，20時の4回×5日の計20回（※4月のみ）
  - インタビュー
    - 各日，11時と15時に実施
    - 複数人利用，単独利用のどちらも対象
    - 利用の目的，滞在時間，什器の使い勝手，追加してほしい設備など

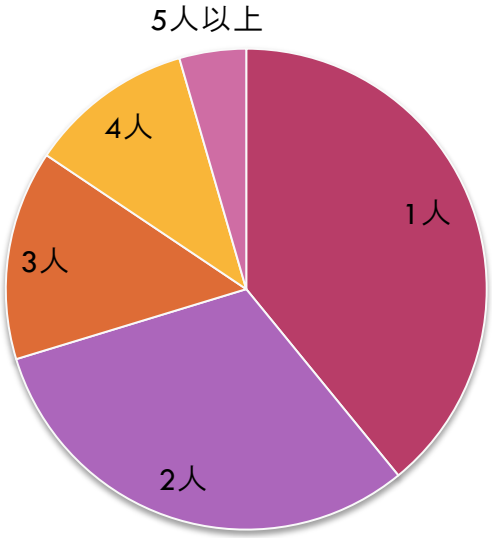
総合図書館ラーニング･コモンズ利用動向調査

観察結果：グループ人数

2012年4月

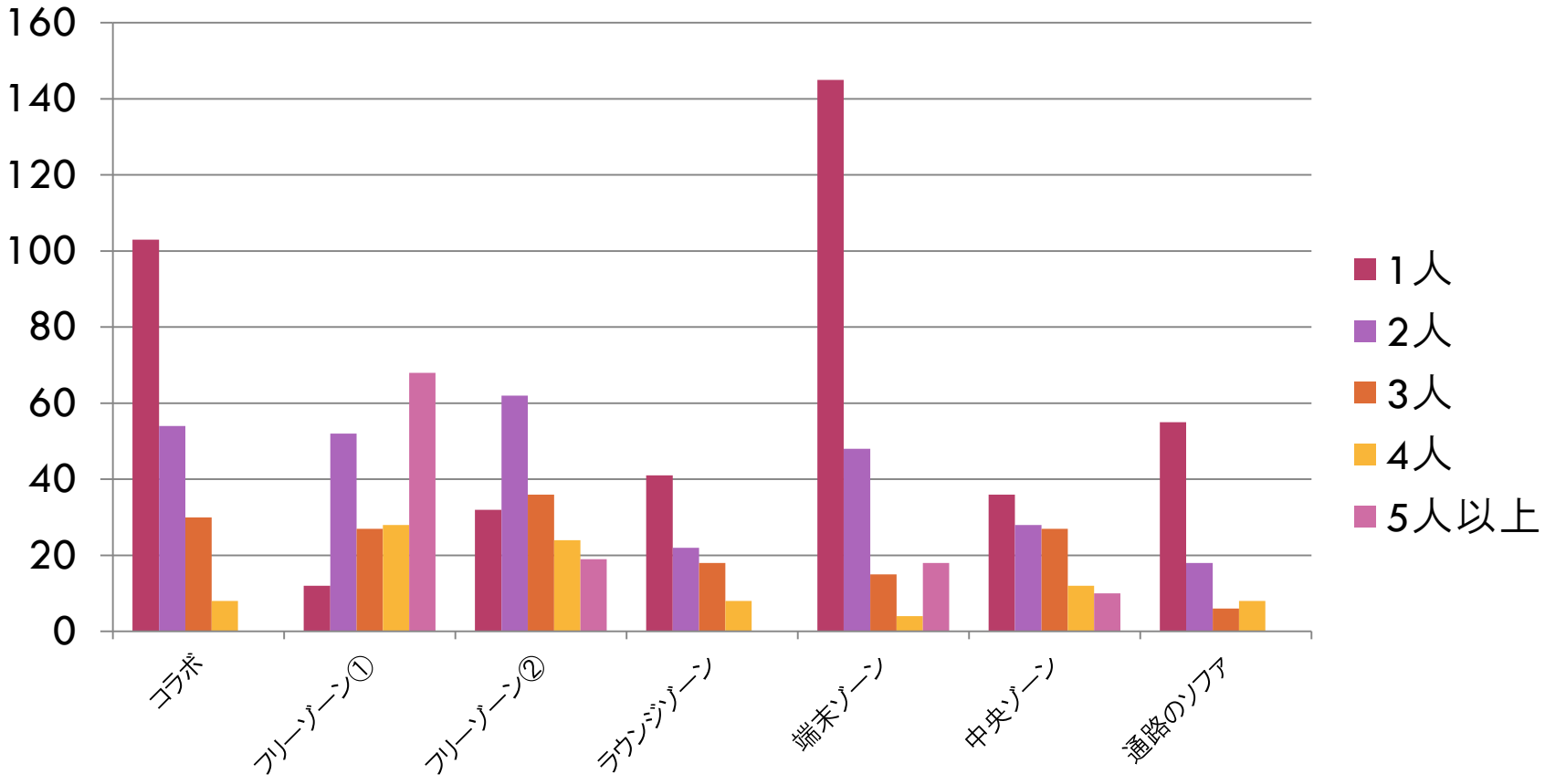


2013年1月



総合図書館ラーニング･コモンズ利用動向調査

観察結果：2012年4月 場所別人数



端末の存在が利用方法に影響している？

簡単な仕切りを兼ねたホワイトボード

総合図書館ラーニング･コモンズ利用動向調査

インタビュー結果

- 利用目的
  - ほどよく騒がしい
  - PCが使える（無線LAN含む）
  - 本が近い，書庫が近い
- 什器について
  - 利用者ごとに好みが分かれる
  - いろんな形やデザインが混在している方が良い
  - ソファには一定のニーズがある
    - 主にリフレッシュ目的で使われているが，単独自習，少人数での学習相談にも
  - 一人あたりのスペースを大きくしてほしい
    - 具体的にはノートPCとA4のレジュメを広げられるくらい
  - グループ内は近く，グループ間は遠く

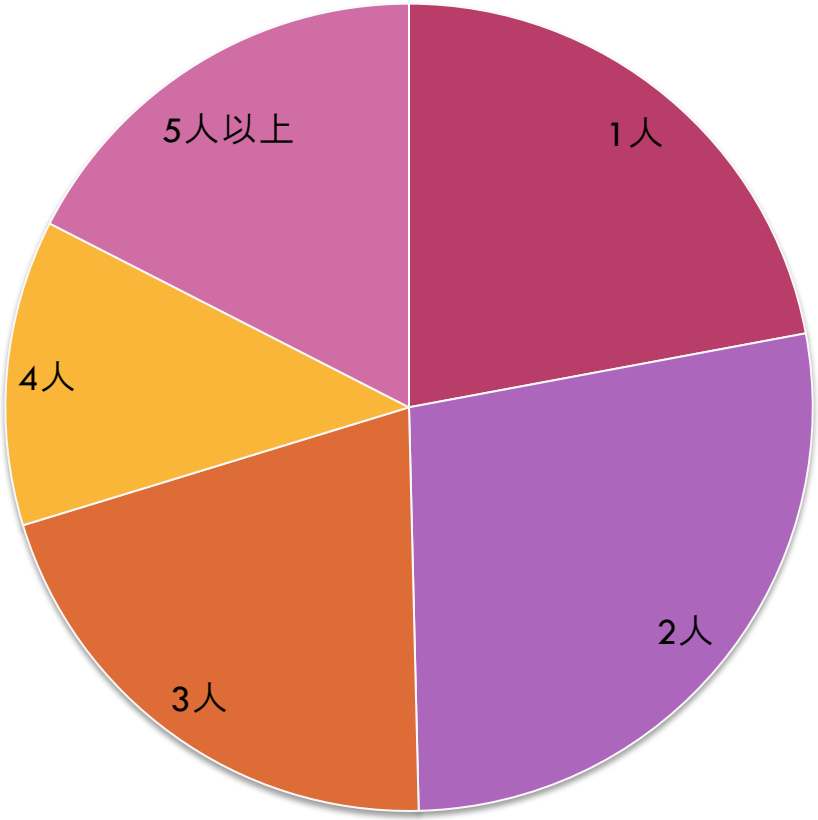
総合図書館ラーニング･コモンズ利用動向調査

その他調査

- アンケート調査（2012年5月14日～25日）
  - 図書館Webページに回答フォームとラーニングコモンズに用紙と回収箱を設置
  - 現在の利用状況や，グローバル･コモンズへの要望
  - 回答数70名（Web44件，用紙26件）
- 国際コモンズに関するグループインタビュー（2012年5月1日，24日）
  - 合計20名の参加
  - 職員からの構想説明の後、職員から質問→学生と教員から意見

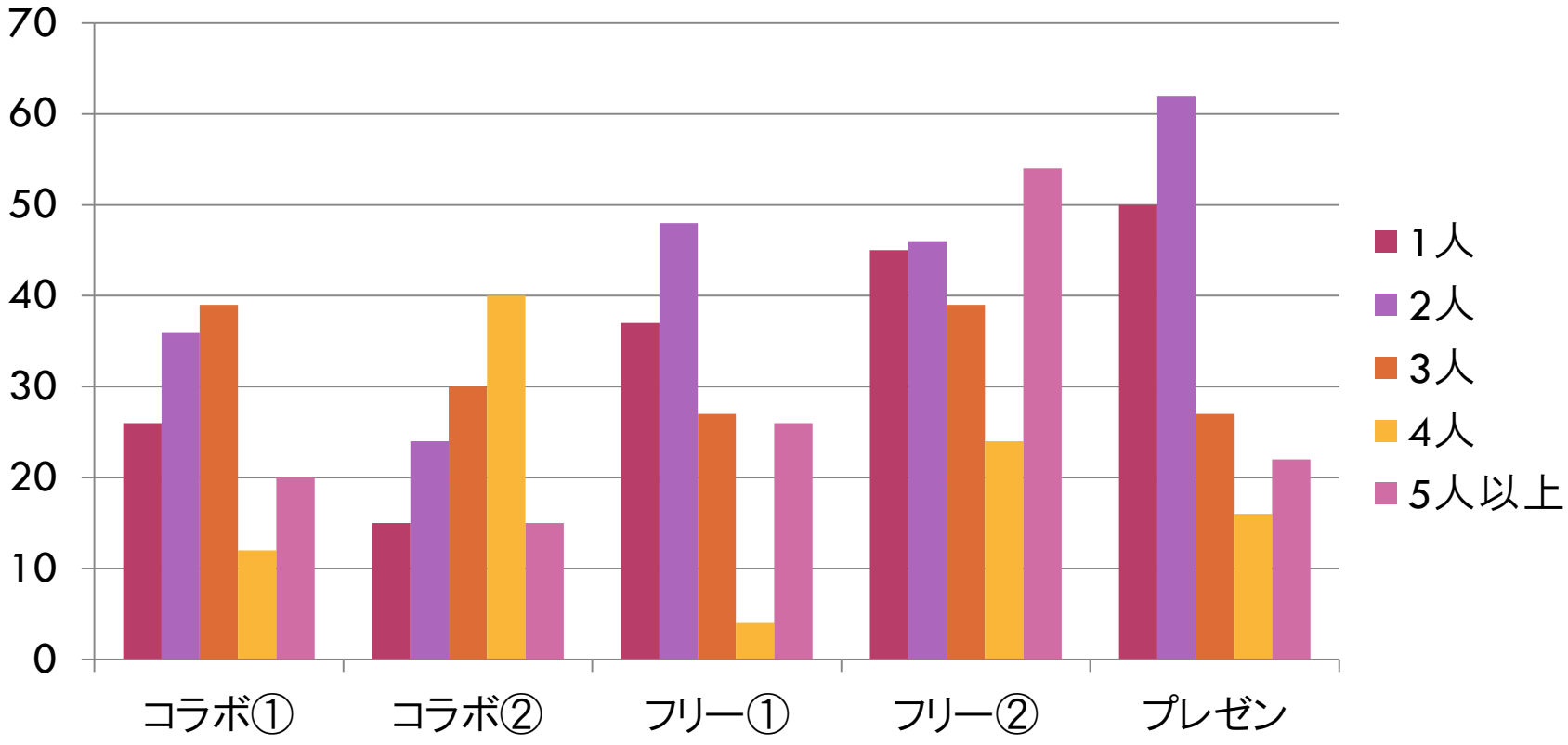
総合図書館グローバル･コモンズ利用動向調査

観察結果：グループ人数



総合図書館グローバル･コモンズ利用動向調査

観察結果：場所別人数



透明な仕切りでプライベート感と視界とを確保

プレゼンテーションゾーン

柱にホワイトボード（インタビューからヒントを得て）

コラボレーションゾーン②

イス4種類+
ベンチ2種類+
閲覧台用イス2種類

フリーゾーン①

フリーゾーン②

アイスブレイク

- あなたの大学にある“コモンズ”（または，学生が集まる場所）を紹介してください
  - 図書館内外OK
  - お配りした紙に記入してください（3分）
  - グループで集まってください
  - その中で紹介しあってください（1人1分）
  - グループ内で**誕生月**が一番早い人は，そのグループでどんな話題が上がったのか発表をお願いします（1グループ1分）

ラーニング・コモンズを通じて

- 大阪大学（豊中キャンパス）の“コモンズ”
  - ラーニング・コモンズ
  - グローバル・コモンズ
  - スチューデント・コモンズ
  - ガイダンス室
  - 学生用自主学習スペース STUDIO
  - 理学部H棟
  - 食堂？
- ラーニング・コモンズだけが“ラーニング・コモンズ”ではない

  →学習支援の結び目に
  - 「ラーニング・コモンズを限定された場所として捉えるのではなく，図書館全体をラーニング・コモンズ化するような意識が必要だろう」（『学習支援促進のための三大学連携事業による海外大学図書館調査報告書：香港，シンガポール，オーストラリアの大学図書館におけるラーニング・コモンズの整備及び学習支援の現状』2012）

ラーニング・コモンズを通じて

- レファレンスカウンターにて
  - 会話しやすさがレファレンスにプラスに？
  - PC（無線LANやOfficeソフト）やプリンタについて
- 利用支援カウンターの光景
  - 学習相談
  - 人生相談？

ラーニング・コモンズを通じて

- どんな人と協働するか（ライティングセンター，キャリアセンター，学生相談，ICTサポート）
  - ポスター掲示をお願いする
  - 留学生が興味のある授業について教えてもらう
  - 身近なところからゆるいつながり
- 気がついたこと
  - 学生や大学でどんな授業が行われているのかについて，より関心を持つようになった

おわりに

- 学習支援の取り組み事例
  - 場所・情報提供だけにとどまらないサービス
  - 工夫・アイディア
- 「チーム学習支援」
  - 学習支援を行う組織や部署との協働
    - 「学習支援における役割を明確に示していくこと」(『平成24年度附属図書館利用者アンケート調査報告書』)
  - 学生のことを知る
    - 調査，教育関係の文献を読む，立ち話をする…？

参考文献

- 米澤誠「インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ：大学図書館におけるネット世代の学習支援.」『カレントアウェアネス』289, 2006. CA1603
- 永田治樹「大学図書館における新しい「場」インフォメーション・コモンズとラーニング・コモンズ」『名古屋大学附属図書館研究年報』7，2008
- 加藤信哉, 小山憲司編訳『ラーニング・コモンズ：大学図書館の新しいかたち』勁草書房，2012
- 茂出木理子「幸せな図書館のつくりかた：ラーニング・コモンズは図書館を救うか？」（平成20年度京都大学図書館機構第3回講演会講演記録）2009
  http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/35018
  （accessed2013/7/29）

参考文献

- 「学士課程教育の構築に向けて（答申）」中央教育審議会，2008 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm（accessed2013/7/29）
- 「大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－」科学技術・学術審議会，2009 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm（accessed2013/7/29）
- 「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け，主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）」中央審議会，2012 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm（accessed2013/7/29）
- 文部科学省 学術情報委員会　2013 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/031/index.htm（accessed2013/7/29）

参考文献

- 小坏守「情報リテラシーとラーニング・コモンズ：日米大学図書館における学習支援」『情報の科学と技術』59(7), 2009
- 呑海沙織，溝上智恵子「大学図書館におけるラーニング・コモンズの学生アシスタントの意義」『図書館界』63(2), 2011
- 池田佳奈子，桑名杏奈「ラーニング・コモンズにおける学生支援（2）：第18 回FD フォーラムでの報告をふまえて」『高等教育と学生支援：お茶の水女子大学教育機構紀要』3，2013

参考文献

- ラーニング・コモンズ、グローバル・コモンズとステューデント・コモンズ http://www.osaka-u.ac.jp/ja/oumode/education_env/communication_space (accessed2013/7/29)
- 堀一成「附属図書館ラーニング・コモンズを利用した教育実践の試み」『大阪大学大学教育実践センター紀要』7, 2011
- 上原恵美，赤井規晃，堀一成「ラーニング・コモンズ：そこで何をするのか,何がやれるのか」『図書館界』63(3), 2011
- 上原恵美「大阪大学のラーニング・コモンズにおける教員やTAとのコラボレーション」（これからの図書館を考える一琉球大学附属図書館ワークショップ）2011
- 久保山健「大阪大学総合図書館における学習支援の取り組み一場所の提供と，コンテンツの商品化」（平成23年図書館総合展）
- 赤井規晃「大学図書館とライティング教育支援」『カレントアウェアネス』310, 2011, CA1756
- ラーニングコモンズデザイン会議@大阪 https://sites.google.com/site/lcdesignkansai/ (accessed2013/7/29)
- 毛利志保; 加藤彰一; 長澤多代; Khasawneh, Fahed A「『大学図書館ラーニングコモンズにおける利用実態調査』ポスター」（大学教育改革フォーラムin 東海2012）2012, http://miuse.mie-u.ac.jp/handle/10076/12026 (accessed2013/7/29)

参考文献

- ラーコモラボ通信
  http://www.mag2.com/m/0001260410.html
  （accessed2013/7/29）
- 八木澤ちひろ「大学図書館における学生協働について－学生協働まっぷの事例から－」『カレントアウェアネス』316, 2013. CA1795
- 大学教育学会 第35回（2013）大会自由研究発表『図書館外ラーニング・コモンズにおける学習支援の実践―大正大学の事例を通じて―』-ラーニングコモンズのブログ
  http://www.tais.ac.jp/related/tais_library/learning_commons/blog/2013/06/10-135740.html
  （accessed2013/7/29）

ご清聴ありがとうございました。